



く め し り つ か み つ し ょ う が つ こ う じ ゅ う 小 学 校 通 信  
久留米市立上津小学校 学校通信

# かみつ

平成31年  
2月19日 (火)  
校長 新山 了一

## 10才の壁と1/2の成人式と～子どもの思春期について考える～

13日の授業参観にはたくさんの来校ありがとうございました。子どもたちは保護者の皆様に見守られて学習に励んでおりました。その中で、4年生は体育館で「1/2成人式」を行いました。これは、これまでの自分の成長を振り返る中で、その成長を喜び、その成長は一人ではできなかったことに気づき、多くの人への感謝の気持ちを感じ、これからのさらなる成長への意欲をもたせる取組です。



多くの人でいっぱい「1/2成人式」会場

体育館では子どもたちが真剣な表情で呼びかけや歌声を披露し、すてきな空気でした。

さて、「10歳の壁」という言葉をご存知ですか？「9歳の壁」と言われることもあります。(個人差があり、9～11才ごろに見られます。)これは子どもの発達段階における思春期という大きな転換期です。学習面では、目に見えない抽象的な概念を理解できるようになります(例えば算数の「億や兆の数」)。また、親と子の関係よりも友だちや社会との関係を優先して親離れが始まります。それに伴い友だちとのトラブルも増えていきます。そのような学習や生活の壁を上手に乗り越えさせるのが大切です。

教育評論家の尾木ママこと尾木直樹さんは、次のように言っています。  
「少し離れて見守ることで自主性を獲得できます。また失敗させることも大事です。何かにつまずいたりした時も簡単には逃げ出さない、自分で解決する力を身に付ける事です。事前に手を出して転ばせない様にしたり、手を貸しすぎたりしてしまうと社会人になってから、なんらかの局面に陥った時に自分では何も出来ない、逃げ出してしまふ、人のせいにする、もしくはこれ以上ない絶望に陥ってしまう最悪な事態になりかねません。子どもが話してくれるのを待ち、心を寄り添っていることを伝え、いつでもあなたの味方という安心感を与えあげれば、子どもはきつと愛情を感じることができるでしょう。」

子どもが自分自身の行動や気持ちを振り返ることで自分の姿に気づき、成長してきます。そんな親子の対話の場を作ることが大切だと思います。1/2成人式がその対話の一つとなれば幸いです。

## 学校版環境ISO認定更新なる!

本年度は、3年ごとの久留米市学校版環境ISO認定更新の年にあたります。これは、子どもたちが環境の大切さに気づき、自ら考え行動することで、環境にやさしい社会づくりをすることを目的とする久留米市の取組です。毎月、環境委員会で話し合い、水の無駄遣いを減らすこと、不要な紙のリサイクルのためにリサイクルボックスを用意し回収すること等と呼びかけたり実行したりしています。



教育委員会から認定書を渡され環境委員会委員長さん

この取組が審査の結果、好評価され、更新することができました。審査の際には、環境委員会委員長さんが取組を詳しく発表し、絶賛されました。これから、この活動の成果を発表し広げることが期待されます。地球に優しい学校としてこれからも積極的に取り組んでいきたいです。



## 筑後地区小学校音楽祭(合奏の部) 41回目の出場



2/1(金)石橋文化ホールにて第56回筑後地区小学校音楽祭(合奏の部)が開かれました。本校からは、器楽クラブ31名が参加しました。発表曲は、「紅蓮の弓矢」「打上花火」の2曲です。夏休み・冬休み・昼休みも練習を重ねた成果を発表し、たくさんの拍手をいただきました。応援していただいた保護者の皆様、ありがとうございました。そして、練習を頑張った子どもたちに、もう一度拍手!!

### ちょっといい話

朝、横断歩道で挨拶・安全指導をしておりますと、地域の方々ともお話しさせていたくことがあります。その中で、先日、こんな話を聞きました。

「子どもたちの挨拶の声を聞くと、元気が出ますね。」

地域に響く子どもたちの何気ない挨拶は、地域の元気の素になっていると感じ、大変うれしく思いました。


